

ベイ★キッズ

横浜子育て応援マガジン

ベイ★キッズ

FREE
2026 SPRING
vol. 060

花とみどりのまじり

- 02 | ガーデンベア
ガーデンネックレス横浜2026
子育てあるある相談室
- 03 | まちすき
ガーデンベアの生みの親
伊藤有吉さん
身近でできるSDGs
花や緑の情報いっぱい冊子
動物園に会いに来てね
マレーパク
パバと遊ぼう
春のおでかけ編
- 04 | こどもと一緒に楽しもう
花壇や緑がきれいなスポット

Credit
スタッフ: 東恵子 船本由佳 本田真弓
ベイ★キッズ みなとくらす
デザイン: 川本智子
協力: あそびい横浜
全家研ポピー 公益財団法人 横浜市緑の協会



写真: 小野寺 香

● 編集・発行/ベイ★キッズ編集部[NPO法人シャーロックホームズ] 〒220-0002 横浜市西区南軽井沢18-1-110 TEL.045-324-5033 FAX. 045-548-4514
http://baykids.jp info2@baykids.jp * 情報提供や広告掲載に関するお問い合わせは上記まで。 * 紙面の無断転載を禁じます。

横浜のみどりはどう守られている?

中心となっているのが「横浜みどりアップ計画」です。2009年度から5年ごとに計画を作りながら、森や農地を守り、街の中に緑や花を増やす取り組みが続けられています。

背景にあるのは、郊外の森や農地などの緑が宅地化などで少しずつ減ってきたことです。とくに横浜の森の多くは個人の土地にあり、所有者の高齢化や相続などをきっかけに手放され、開発されてしまうケースもありました。

そこで横浜市では、森を守るための制度を整えています。例えば「特別緑地保全地区」などの制度を活用し、税制の軽減や維持管理の支援を行いながら、森を残していく取り組みを進めています。

こうした取組を支える財源の一つが「横浜みどり税」です。2009年度から導入され、個人市民税に年間900円が上乗せされる形で集められています。この税収は、森や農地の保全、街中の緑化、市民参加の緑づくりなどに活用されています。

横浜のみどりアップ計画 3本の柱

- 市民とともに次世代につなぐ森を育む
- 市民が身近に農を感じる場をつくる
- 市民が実感できる緑や花をつくる

みどりを守るだけでなく、暮らしの中で楽しめる環境をつくることも大きな目的です。



都市緑化フェアから続く花の取り組み

横浜の花とみどりを象徴するイベントが「ガーデンネックレス横浜」です。この取り組みは、2017年に開催された「全国都市緑化よこはまフェア」をきっかけに始まりました。当時、横浜の街は花とみどりで彩られ、約600万人が訪れました。

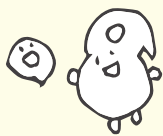
このイベントを一度きりで終わらせず、市民や企業とともに花のまちづくりを続けていこうと始まったのがガーデンネックレス横浜です。

みなとみらいから山下公園、港の見える丘公園にかけてのベイエリアでは、春から初夏にかけて花のリレーが続きます。3月には桜、4月にはチューリップ、5月にはバラと、季節ごとに花が咲き、散歩しながら花を楽しむことができます。とくに山下公園や港の見える丘公園は横浜でも有名なバラの名所で、春には多くの人々が訪れます。

また旭区の「里山ガーデン」は、このガーデンネックレスのもう一つの主会場となっています。



花いっぱいの「里山ガーデンフェスタ」と横浜のみどりの取り組み。親子で楽しむ横浜の花とみどり



里山ガーデンフェスタの見どころ

里山ガーデンフェスタの最大の見どころは、丘の地形を生かした広大な大花壇です。立体的にデザインされた花壇は、歩く場所によって景色が変わり、さまざまな角度から花を楽しむことができます。

実は、この花壇はかなり長い時間をかけて準備されています。花壇の設計はランドスケープの専門家が担当し、準備はおよそ一年半前から始まります。今年の春の花の苗も、横浜市内の農家に一年前から生産を依頼して育ててもらっています。

花の苗の約9割は横浜市内の農家が作ったもの。花き農家の皆さんに相談しながら準備が進められます。花は一齐に咲くのではなく、球根や種を組み合わせることで期間中に次々と開花するよう設計されています。また低木や多年草など、2017年の都市緑化フェアの頃から育ち続けている植物もあり、年を重ねるごとに花壇の景色が育っています。

里山ガーデンフェスタは、親子でのお出かけにも向いています。園路はベビーカーでも回れるよう整備されており、芝生の広場では子どもがのびのび遊ぶこともできます。リードをつければペットと一緒に花を楽しみながら散歩ができるのも特徴です。

期間中には子ども向けのイベントも開催されます。どんぐりや枝を使った工作体験や森のクイズ、木の素材を使ったおもちゃなど、自然に触れながら楽しめるプログラムが用意されています。花を探しながら歩く「花さがしシート」もあり、小さな子どもでも花を観察しながら散歩できます。

会場にはキッチンカーも並び、横浜の農産物を使ったメニューが楽しめるなど、地産地消の取り組みも行われています。

横浜の緑の取り組みは未来へ GREEN×EXPO



横浜市では、2027年に国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」の開催が予定されています。ガーデンネックレス横浜のような市民参加の花と緑の取り組みは、この国際イベントにつながる活動でもあります。

横浜の公園や森、街角の花壇など、身近なみどりの風景は長年の取り組みによって守られてきました。里山ガーデンフェスタの花畑を歩きながら、子どもと一緒に横浜の自然を感じてみてはいかがでしょうか。